

全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会

第89号

平成21年10月8日発行

会報

(発行)

全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会
〒162-0051 東京都新宿区西早稲田2-2-8
(社会福祉法人 全国心身障害児福祉財団内)
電話 (03) 5272-1210
FAX (03) 5272-1213
ホームページアドレス <http://www.zsp.jp/>

第52回「宮崎大会」を終えて

全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会

会長 濱川 浩子

(東京都立墨東特別支援学校PTA会長)

当会の結成時から開催されている、PTA・校長会合同研究大会が今年は南国宮崎県で、平成21年8月20日～22日の3日間、宮崎観光ホテルで開催されました。

大会研究主題は「子どもたち一人一人のニーズに応じた特別支援教育・肢体不自由教育の取り組みおよび共生社会づくりのため、PTA活動はどうあるべきか。」のもと、講演や分科会が行なわれました。

21日の基調講演では文部科学省特別支援教育課の特別支援教育調査官下山直人様から「一人一人の可能性を広げる肢体不自由教育を目指して」をテーマに、子ども達の生きる力を育む事の大切さをお話いただきました。

分科会は「子どもたちをとりまくネットワーク」を共通テーマに「学校」「地域」「福祉」「労働」「医療」「機器」の6つに分かれて、行われました。

指導・助言者には各分野にご精通の先生方をお願い致しました。どの分科会も熱心に協議がなされ、保護者の皆様の発表内容も大変充実しておりました。

最終日の会員研修には特別講師として、今から55年前に脳性まひ児の我が子の為に「しいのみ学園」を設立なさった昇地三郎氏(福岡県在住)の講演が行なわれました。昇地氏は世界最長の現役教育学者(今年103歳)として、世界中で講演会をしているそうです。

しいのみ学園当時の子ども達の教育のお話とおもちゃの話、長寿体操まで、実にユニークな会話で会場を湧かせてくれました。



会員研修の後半は鼎談形式で、昇地三郎氏とも交友もあり、しいのみ学園開設当時のご労苦をご存知の日本肢体不自由教育研究会理事長、村田茂様からも貴重なお話がありました。

また、現在の特別支援教育への諸課題やこれからの取り組みを文部科学省特別支援教育課の下山直人様ならびに全国特別支援教育推進連盟理事長、三浦和様のお二方から保護者や教職員へご助言をいただきました。55年前のしいのみ学園は今の教育と、なんら遜色なく生き生きと私たちに語りかけてくれたような気がします。大会参加の皆様には最終日まで関心を持ってご参加頂けた事と思います。

最後になりましたが、この全国大会を開催するにあたり、九州ブロックをはじめ、大会運営にあたられた主管校の宮崎県立清武せいりゅう支援学校ならびに延岡わかあゆ支援学校の大会実行委員の保護者、教職員の皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。有難うございました。



【全肢P連会報 編集コラム】

当会の全国大会は全国6ブロックを順番に一回り致します。参加者は加盟校の保護者と教職員の皆様です。今年は九州ブロックの担当でしたが、来年の平成22年は北海道・東北ブロックの担当になります。すでに山形では準備に取り組んでおります。全国から集まる保護者の皆様方が、子ども達の為の特別支援教育を少しでも充実したものになるようにと、この大会で得た情報を我が子へ、我が学校へ持ち帰りたいと勉強なさる姿がとても印象に残ります。宮崎大会は会報90号の大会特集号に掲載されます。《事務局長 佐竹京子》